

# 附属特別支援学校でのSDGs活動



## 1. 全校での取り組み アルミ缶の回収作業

長野地区附属学校と地域福祉事務所とが連携



附属長野学校三校全体で協力しながら取り組んでいます。児童生徒それぞれが協力することの大切さを考えたり、自分たちにできることの意義が大きな視野で見るとそのような成果となるのかを知ったりする貴重な機会になっています。この活動には、地域の福祉事務所にも協力をいただいています。

13 気候変動に  
具体的な対策を



12 つくる責任  
つかう責任



## 2. 小学部の取り組み 附属長野小学校との交流活動

同じ敷地にある両校の児童が交流することで、それぞれの学びがあり、まなざしを共有することで新たな気づきが生まれたり、交流がはじまったりします。ともに自然の中で見つけたエピソードも大切な学びや発見として児童たちの成長に欠かせない存在の一つとなっています。



同じまなざしの先にあるもの

4 質の高い教育を  
みんなに



## 3. 中学部の取り組み 地域・学校の花壇整備



花を大切に植える生徒の姿には植物に対する愛情が感じられます。また、地域や校内に生徒が作った美しい花壇が置かれることで周囲に明るい雰囲気を作り出しています。



11 住み続けられる  
まちづくりを

## 4. 高等部の取り組み 福祉事業所・企業での職場実習

4 質の高い教育を  
みんなに



地域の福祉事業所や企業の協力を得ながら、高等部の生徒たちが社会とのつながりを作ろうとする姿には、たしかな成長が見られます。

副校長 佐藤幸三先生からのコメント コロナ禍ではありましたが、SDGsに関する取り組みでは、児童生徒の、「自分から自分で 精一杯」の姿がたくさん見られました。附属特別支援学校は、これからもSDGsに主体的に取り組んでいきたいと思ひます。